

子どもたちの未来のために、今、私たちにできること ～「地域とともにある学校」づくりに向けて～

2017.12.15

文部科学省CSマイスター（コミュニティ・スクール推進員）
一般社団法人みたかSCサポートネット 代表理事 四柳 千夏子

東京都三鷹市

人口： 約18万人
* 公立小学校（15校）
児童数：約8,300人
* 公立中学校（7校）
生徒数：約3,200人



東京都三鷹市

住みたい街No.1!の吉祥寺 のとなりまち



山本有三記念館



三鷹の森ジブリ美術館



国立天文台



子どもたちが生きていく、日本の未来は・・・

少子高齢化
グローバル化
情報化…………

予測困難な社会



今を生きる子どもたち

いじめ

不登校

受験戦争

貧困

学力格差

規範意識

コミュニケーション力低下



先生たちもまた、厳しい現状

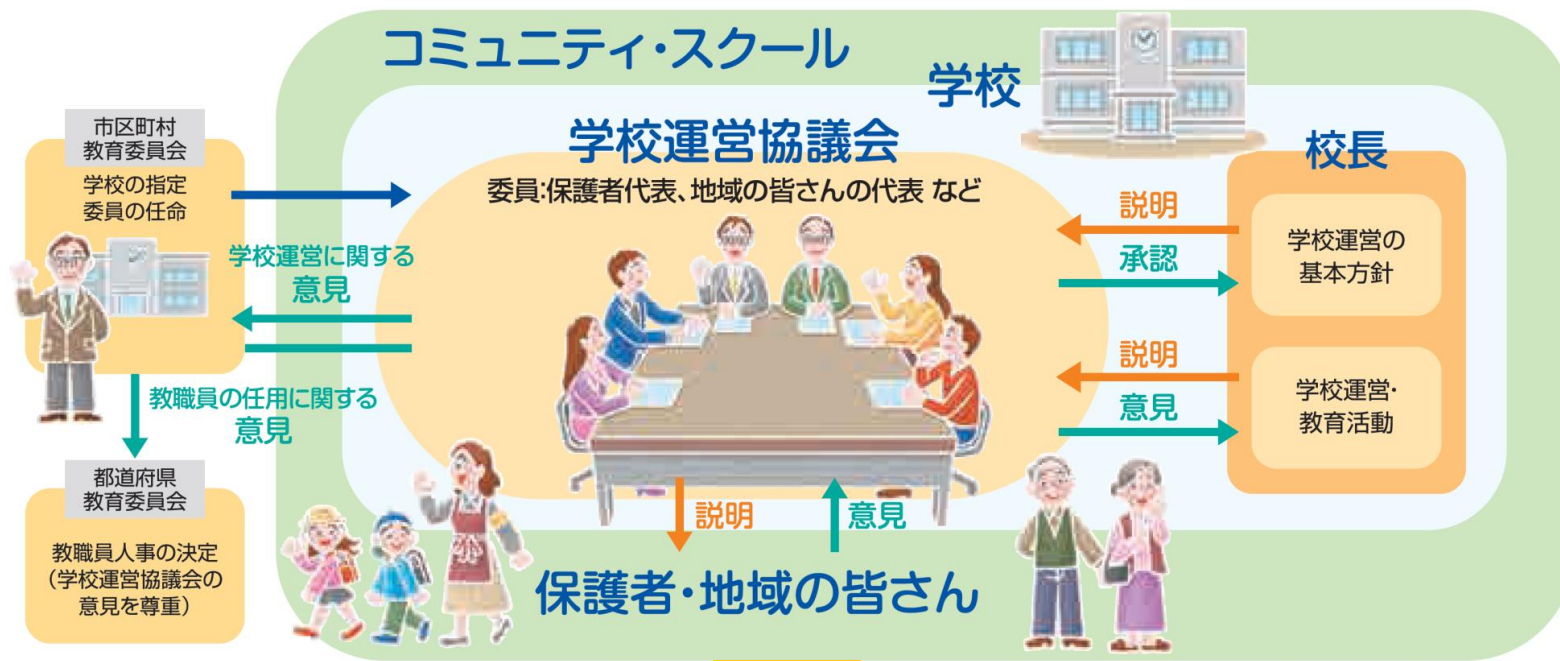


子どもの教育は学校だけが
背負うものでしょうか？

地域とともにある学校への転換

開かれた学校から更に一步踏み出し、
地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子どもたちを育む
『**地域とともにある学校**』へと転換していくことを目指して、取組を推進していく必要。

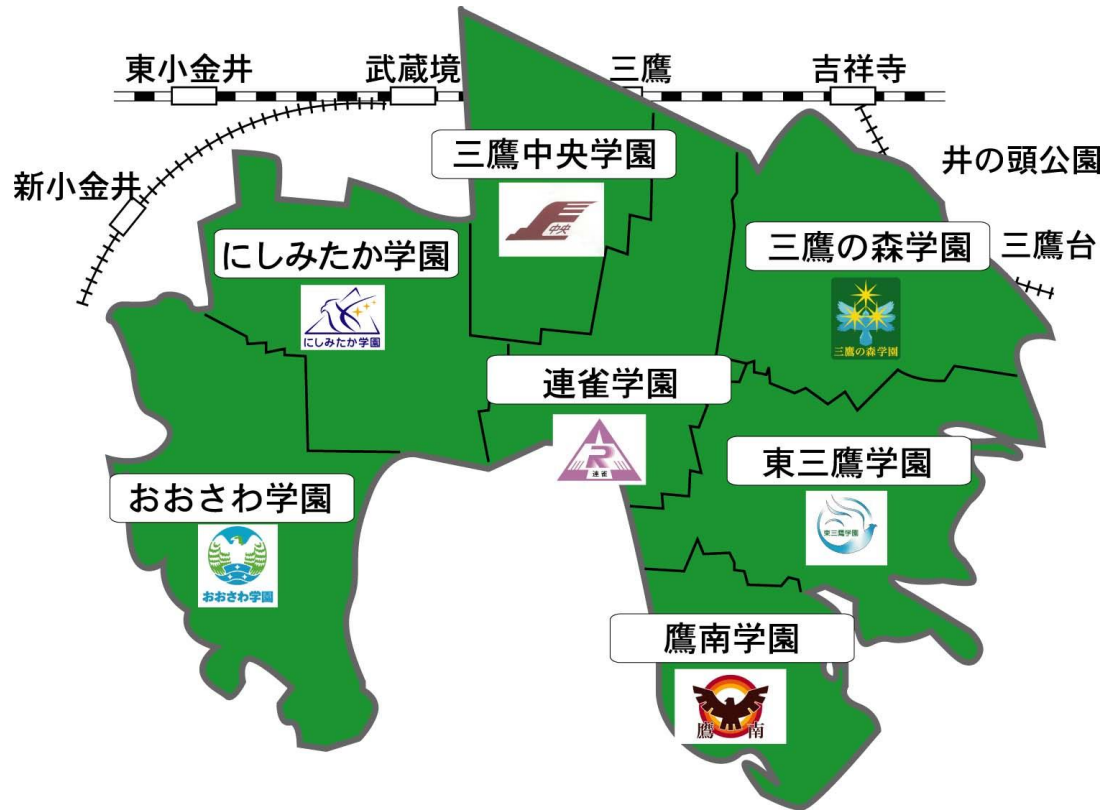
▶▶ **コミュニティ・スクールは地域とともにある学校づくりの有効なツール**



コミュニティ・スクールは、育てたい子供像、目指すべき教育のビジョンを保護者や地域と共有し、
目標の実現に向けてともに協働していく仕組み。
学校と地域の連携・協働体制が組織的・継続的に確立され、協働の基盤が確固たるものに。

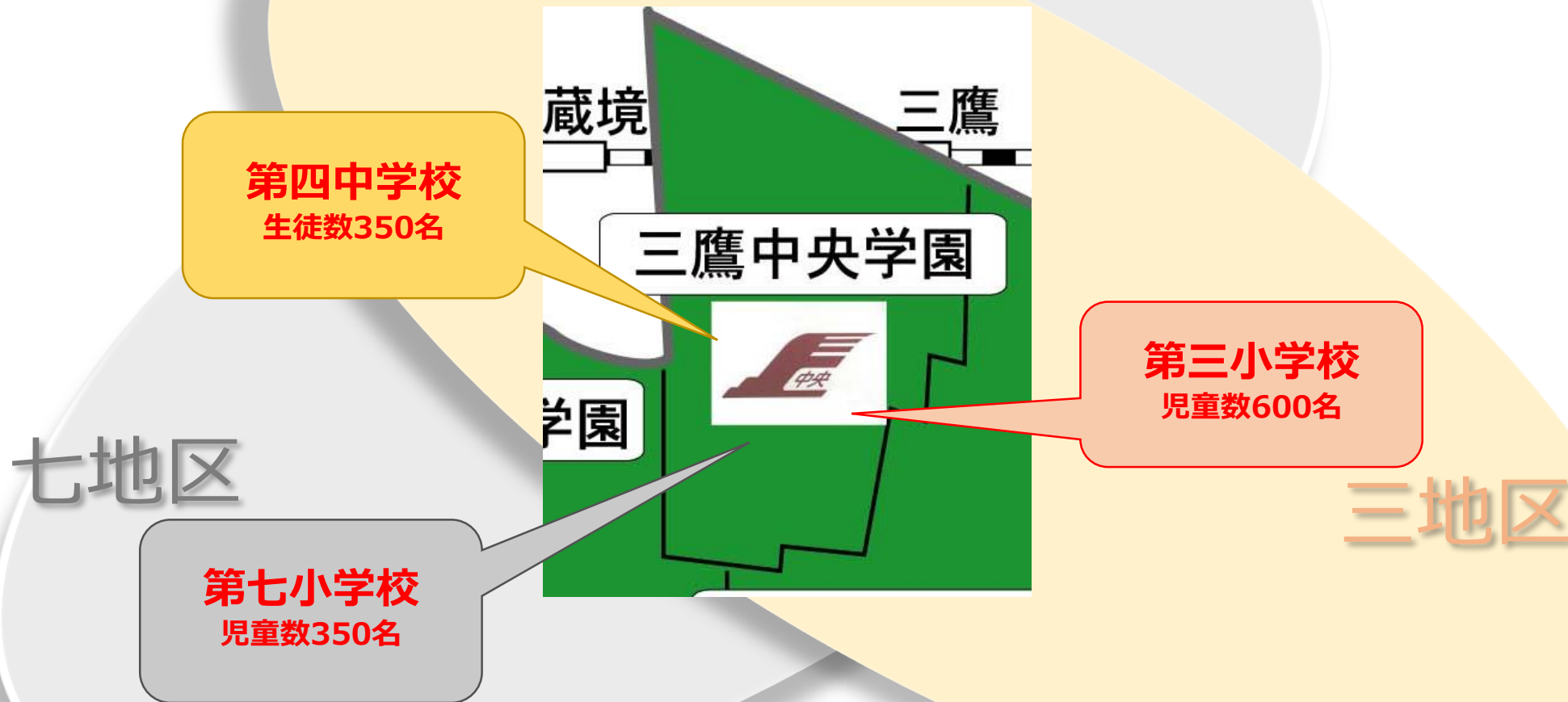
三鷹市では、

「コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育」
を市内公立小中学校22校すべてで行っています。

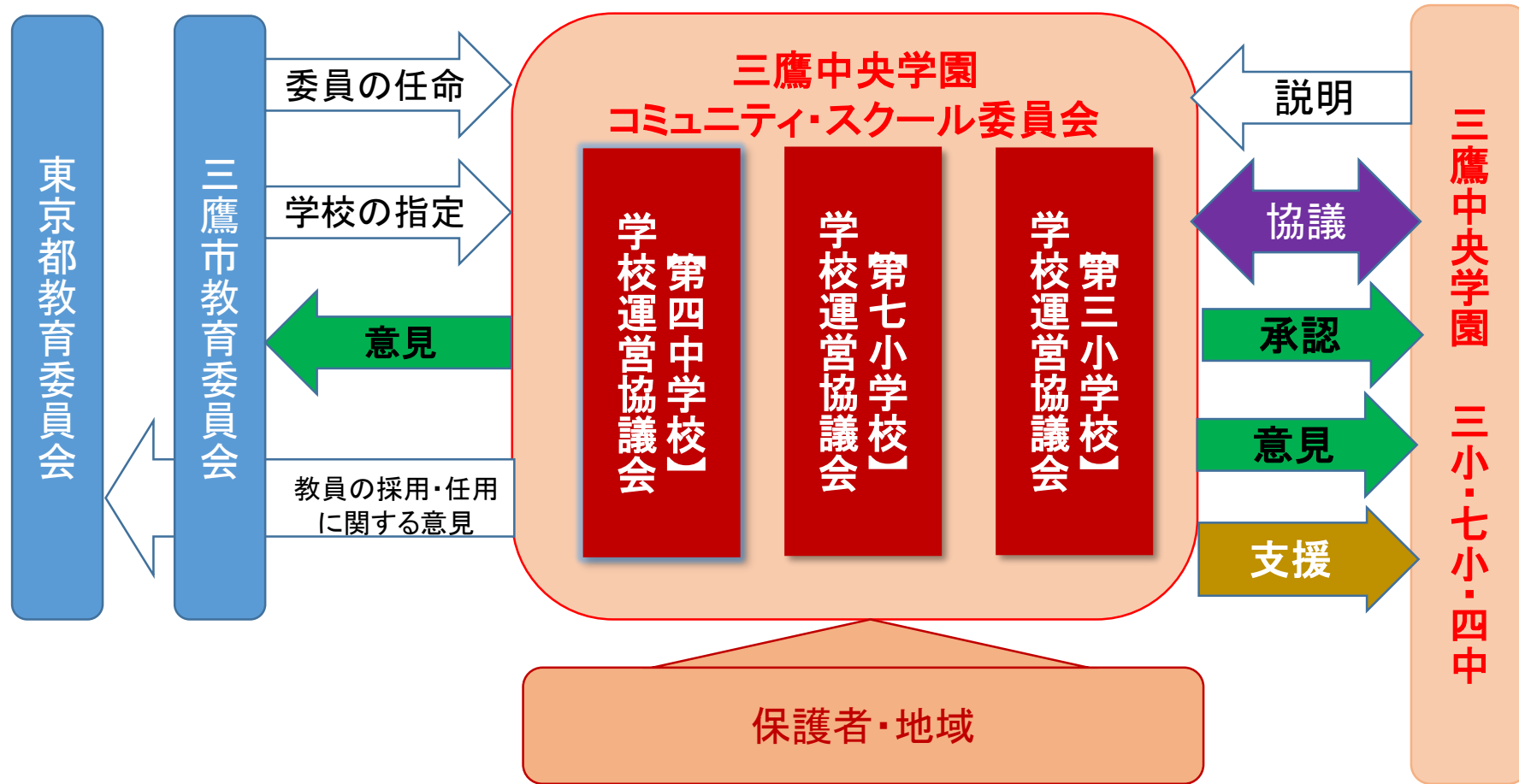


平成18年4月	にしみたか学園	二小・井口小・二中
平成20年4月	連雀学園	四小・六小・南浦小・一中
4月	東三鷹学園	一小・北野小・六中
4月	おおさわ学園	大沢台小・羽沢小・七中
平成21年4月	三鷹の森学園	五小・高山小・三中
4月	三鷹中央学園	三小・七小・四中
9月	鷹南学園	中原小・東台小・五中

三鷹中央学園は、中学校1校、小学校2校、地域も2つ



コミュニティ・スクール委員会 = 学校運営協議会



【コミュニティ・スクール委員会の役割】

- ・学園及び各学校の基本方針についての承認
- ・学園及び各校の具体的方策に対しての学校支援
- ・進捗状況の点検、学校関係者評価や外部評価（児童生徒評価、保護者評価）の実施・分析
- ・教育目標の実現に向けてのアクションプランの検討、提言、発信、啓発

コミュニティ・スクールとはどんな学校か？ (私たちバージョン)

■皆さんの声が反映される学校です！

毎年、学園の全保護者に学園・学校評価アンケートを行います。CS委員会では、アンケートを分析して、皆さんの声が各校の教育方針に反映されているかどうかを点検しています。

■皆さんが教育活動に参画できる学校です！

多様な大人のかかわりで、子どもたちの学びはより豊かになります。学習ボランティアのサポートで先生方の授業がより充実します。CS委員会は、学校のニーズと皆さんの支援の力をつなぎます。

■地域ぐるみで子どもたちを育てる学校です！

地域の大人が義務教育9年間に責任を持つ。そのために学校と一緒に考え、実践し、多くの大人にかかわっていただく。CS委員会は、防災教育やふれあい学習などを通して、地域を愛する心を育てます。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)が有する機能の意義

① 指定学校の校長は、学校運営の基本方針を作成し学校運営協議会の承認を得なければならない(必須)

意義

- 基本方針の承認を通じ、**育てたい子供像や目指す学校像を共有**し、協働して教育の充実に取り組むための**当事者意識の向上**につながる、地域の人々や保護者等の**意向を反映**する観点から重要な意義を持つ。
- 地域の人々や保護者等が**校長とともに学校運営に責任を負う体制の構築**に資する。

② 学校運営協議会は、学校運営に関して、教育委員会又は校長に対し意見を述べる事ができる(任意)

※学校運営協議会制度を導入している教育委員会の約95%において、教育委員会規則にその旨が明定

意義

- 学校の教育活動に対し様々な角度や多様な見方からの意見をもらうことで、**教育活動や地域連携に関する改善**を図ることができる、**教職員や保護者・地域の人々の意識づくり**につながる観点から意義を持つ。

③ 学校運営協議会は、職員の任用に関する事項について、任命権者に対し意見を述べる事ができる(任意)

※学校運営協議会制度を導入している教育委員会の約76%において、教育委員会規則にその旨が明定

意義

- 学校運営協議会が承認した学校運営の基本方針を踏まえて、**実現しようとする教育目標・内容等にか**
なった教職員の配置を得る観点から意義を持つ。

三鷹市のコミュニティ・スクール委員会の主な役割

協議



教育の当事者として、子どもたちや学校の現状を把握しながら、育てたい子ども像（ビジョン）を共有して、学園の教育目標の実現に向けて、熟議（よく話し合う）を行っています。

支援

学校の教育活動をお手伝いしたり、ときには先生と一緒に授業を作る「参画授業」に取り組んでいます。学校で、そして地域で、子どもたちを見守り育てる輪を広げるのも私たちの役目です。



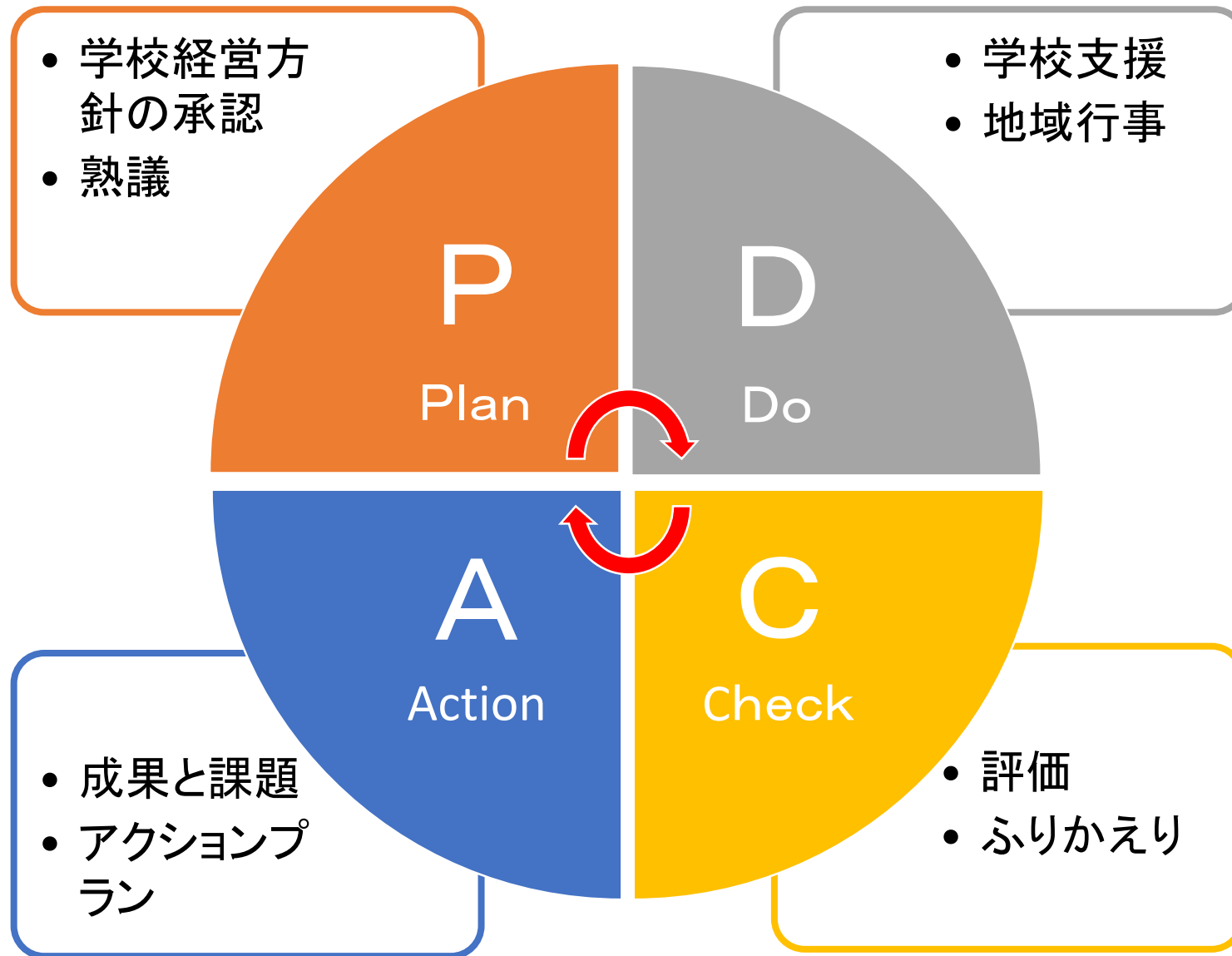
評価

関係者が目標を共有するためには現状を把握することが大切。学校関係者評価、保護者・地域への外部アンケートなどを継続的・効果的に行えるよう教務の先生方と連携を取りながら成果と課題を共有します。

広報

C S委員会だよりやホームページを活用して、学校、家庭、地域それぞれが互いを理解し合い、情報を共有できるよう発信しています。「パワーアップアクションプラン」を具体例をあげながら啓発したりしています。

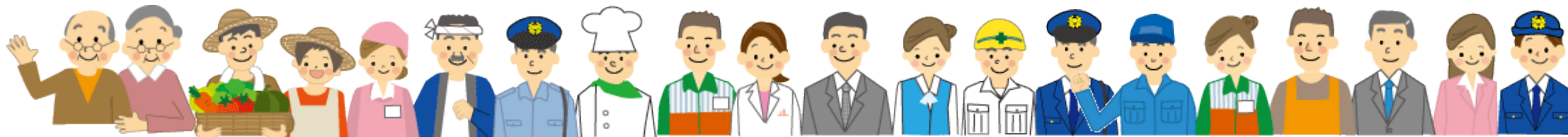
大切なのは、「PDCA」を回すこと



三鷹中央学園コミュニティ・スクール委員会 平成29年度委員構成

選出区分	委員数 (■男 ●女)	サポートネット スタッフ
学識経験者	■ ●	
保護者代表(PTA)	■ ■ ● ● ● ● ● ●	● ●
青少年対策地区委員会	● ● ●	
交通安全対策地区委員会	● ●	
地域子どもクラブ	● ●	● ●
地域コーディネーター	●	●
主任児童委員	●	●
青少年委員	●	
保護司	●	
住民協議会／地域協力者	■ ●	
サポートネット	●	●
学校代表者(学校長)	■ ■ ●	
合計	27名	

地域の強みを生かして学校教育を支援する



コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の主なメリット

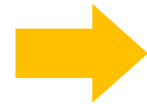
コミュニティ・スクール

地教行法に位置づけ



組織的・継続的な体制の構築 = 持続可能性

具体的な権限を有し
学校運営に参画



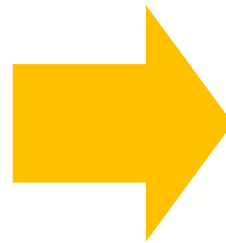
当事者意識・役割分担 = 社会総掛かり

基本方針の承認



目標・ビジョンを共有した協働活動

個人個人のガンバリに
依存していた学校支援



一人の負担を皆で分け合い、組織的に
学校を支えることで持続可能に



「地域とともにある学校」をつくることは子どもの未来をつくること

全員参加、みんなが一つのチームです

- ・当事者意識をもって。誰かがやってくれることではありません！

立場の違いを理解し合いましょう

- ・小学校教員、中学校教員、保護者、地域（地域もイロイロ）

どの意見も同じ一票です

- ・少数意見も大切に、話し合いに年功序列はアリマセン

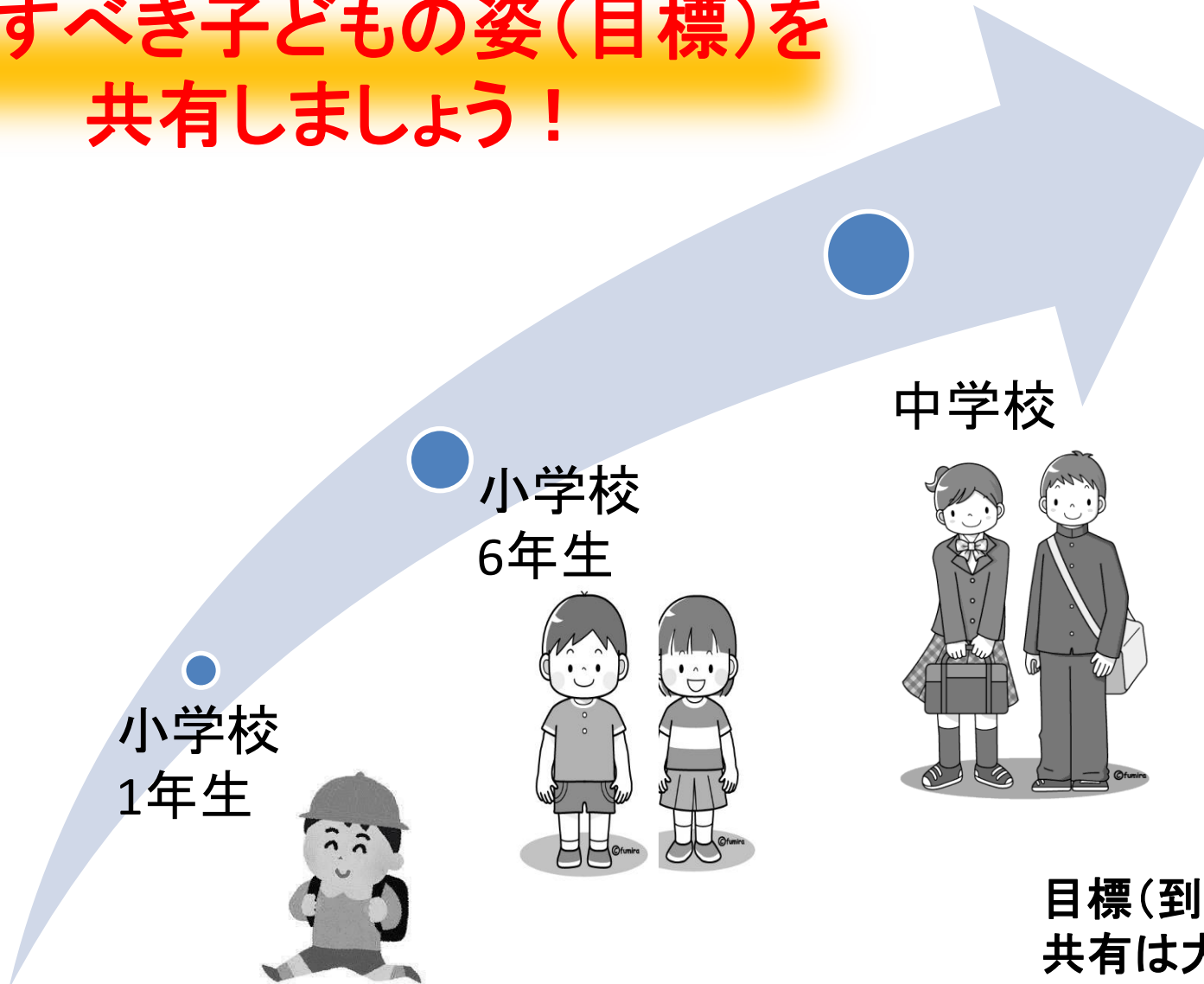
「よし、みんなでやってみよう」と思えるアイデアを

- ・課題解決に向けた具体的で前向きな話し合いを



まずは…

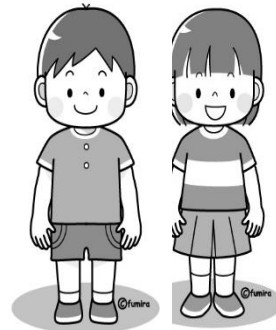
目指すべき子どもの姿(目標)を
共有しましょう！



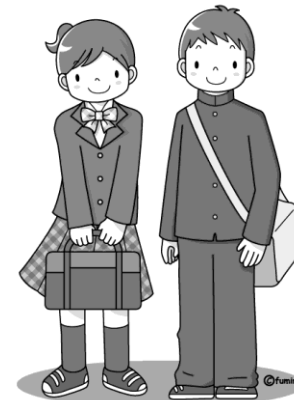
小学校
1年生



小学校
6年生



中学校



目標(到達点=ゴール)の
共有は大切です。なぜなら…

繰り返して
話し合うことで



生まれる
共有と相互理解



話し合いには工夫が必要です！

- 年齢も、性別も、立場も、考え方もいろいろな人が集まっています。
- 口の字型での大人数の会議で、一度も発言しない方もいます。
- いつも強い意見、声の大きい人もいます。



私たちは、**熟議**をよくやっています。

三鷹中央学園
「目指す学園生像」

学校での取組

子どもの取組

家庭での取組

地域での取組

すすんで学ぶ人
確かな学力をはぐくむ

1. 魅力ある授業づくりを実践する
2. 授業内容に関連した本を紹介し、読書への興味につなげる
3. 授業と家庭学習の関連性を重視した指導を行う

1. 話をよく聞き、分からないことがあったらそのままにしない
2. 読書の習慣を身に付ける
3. 宿題を忘れずにやり、時間のけじめをつけて家庭学習をする

1. 子どもたちの学習内容に関心を持ち、声をかける
2. 本に親しむ習慣を付ける
3. 子どもが家庭学習に集中できるような環境(時間・場所)をつくる

1. 学習に関わる地域の人財や環境づくりに協力する
2. 学校図書館と地域の図書館が連携したり、読み聞かせなどのボランティアなどに協力する
3. 放課後や長期休業中に子どもたちが学べる環境づくりや子どもが挑戦できる検定(漢検、英検、数検など)を行う

感謝と思いやりの心をもつ人
豊かな人間性をはぐくむ

1. 互いを認め合える学級をつくる
2. 他学年の子どもと交流し、協力できるようにする
3. 「あいさつは自分から、返事ははい」を指導する
4. 感謝の気持ちを伝えられるようにする

1. 学校であったことについて家で話す
2. 友達のよいところを認めたり、思いやりのある声をかけたりする
3. 自分から進んであいさつをする
4. 自分から進んで「ありがとう」を言う
5. 家のお手伝いをする

1. 家庭での対話を大切にする
2. 家庭で大人が率先して子どもにあいさつをする
3. 家庭で大人が率先して子どもに感謝の気持ちを伝える
4. 家庭で話し合い、毎日できるお手伝いを決め、継続させる

1. 子どもの体験を深める活動を行う
2. 大人が子どもにあいさつなどの手本を示す
3. 子どもを褒める場をつくる

たくましい心と体をもつ人
心身の健康をはぐくむ

1. 時間を守り、けじめのある集団生活ができる学級をつくる
2. 運動・部活動をしやすい環境をつくり、目標を持たせる
3. 望ましい生活習慣を示し、重要性を伝える
4. 食育を推進する
5. コミュニケーションツールの適切な利用方法やルールについて指導する

1. 時間を守って行動する
2. 目標をもって運動・部活動に取り組む
3. 十分な睡眠時間を確保し、毎日食事をとる習慣をつける
4. 食べ物の好き嫌いをなくす
5. ゲームやケータイ・スマホ等の利用ルールを決める

1. 子どもが約束の時間を守って行動できるようにする
2. 家庭で体を動かす機会をつくる
3. 早寝早起き朝ごはんを励行し、子どもが規則正しい生活ができるようにする
4. 子どもが食べ物の好き嫌いをなくすようにする
5. ゲームやケータイ・スマホ等の利用ルールを決める

1. 子どもの体力づくりを推進する活動を行う

地域・社会に
貢献する人

地域を愛する心と態度をはぐくむ

1. 委員会や係活動で自分の役割をもって行動できるようにする
2. 学校行事・地域行事を通して成長する環境をつくる
3. 防災訓練を行い、災害に備える
4. 地域と関わる学習でつながりを深める

1. 自分の役割を責任をもって果たす
2. ボランティア活動・地域行事に参加する
3. 地域の防災訓練に参加する
4. 一人ひとりが安全な過ごし方を考えて生活する。子ども同士声をかけあう

1. 学校行事・地域行事に参加する
2. 地域の防災訓練に参加する
3. 家族で安全な過ごし方を考えて生活する

1. 子どもにとって安全で安心な環境をつくる

地域が子どもたちにしてあげられること

あいさつをする
見守る
励ます
手本になる

声をかける
寄り添う
ほめる
背中を見せる



地域のまなざし

子どもたちの
心の安定
自己有用感
自己肯定感

誰かが何とかしてくれる、のではなく、
自分たちが「当事者」として、
自分たちの力で学校や地域を創り上げていく。

子供たちのために学校をよくしたい、元気な地域をつくりたい、
そんな「志」が集まる学校、地域が創られ、そこから、
子供たちが自己実現や地域貢献など、志を果たしていける未来こそ、
これからの未来の姿である。

(平成27年12月 中央教育審議会答申「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」おわりに)

何のために学校と地域が連携・協働していかな
なければならないか。

理想的な未来を創り上げていくために、関係者
がその理念を共有し、手を取り合い、行動して
いくことが不可欠。

子供たちが志を果たしていける未来のために、
皆さんの「志」と「新たな一歩」を。